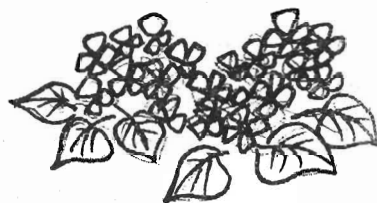

井戸端だより

第 22 号

発行日 1998.6.30

発行 ぐらしの学習会



時まさに夏、井戸端だより 22 号をお届けします。今回のテーマをあえて言うなら、異文化理解と総合環境評価ということでしょうか。全く異質に思えるこのテーマどちらも私達の生活を足下から見つめ直すきっかけを作ってくれたような気がします。

- ・ 4 月例会では、重信町在住外国人クリスさんにお話を伺いました。(P.2) また建設省が発表した重信川の泉を取り組んだ整備計画が話題になりました。この件については、どこまで計画が進んでいるのか、泉についてはどのように扱うのかについて建設省に問い合わせることになりました。
(P.5 関連記事参照)
- ・ 5 月例会は、「木と環境」と題して講演会を企画しました。ここでは総合環境評価と言うものの考え方を学びました。(P.3、4)
- ・ 6 月例会では、町生活環境課の加藤課長に来ていただき、今年 4 月から始まった燃やさないごみ分別収集を中心に、燃やすごみの現状、ダイオキシン問題等伺いました。直に質問し、答えていただけるいい機会なのに出席者が少なくて残念でした。(P.6、7、8)
- ・ 出合い塾は今回愛媛大学大学院生グルジア出身のマリアさんをお迎えしてお話を伺いました。グルジアでは、おはようは「平和の朝」こんにちはは「平和の昼」今晚は「平和の夜」と言うのだそうです。戦争、内紛の絶えないところでの平和の重みを強く感じました。20 名におよぶ参加者で大盛会でした。(P.9~13)
- ・ 最後に、以前出合い塾でインカ帝国への旅について話していただいた中野さんが<健康住宅>について投稿してくださいました。(P.15~18)

4月20日(月) 4月定例会

〈クリスさんのお話を聞く会に出席して〉

私は、暮らしの学習会の購読会員ですが、いつも“井戸端だより”を楽しく読ませてもらっています。 会員のみなさんが、いろいろなジャンルで興味を持った問題や事柄を取り上げ、自由に楽しく勉強しておられる様子がとても素敵だなと思っています。

今回のクリスさんのお話を聞く会も、スタンフォード大学卒、ハンサム、ということで、楽しみにして町民会館に出掛けました。出席者は少なかったのですが、クリスさんを囲んで和気あいあいとした雰囲気です。1時間があっという間でした。彼は本当に好青年で、日本に来て今9ヶ月だそうです。日常会話には困らないようで驚いてしまいました。 重信町の人達はとても親切で、道を歩いていても気軽に声をかけてくれてうれしいという話や、友達が助けてくれるのであまり困ったこともないという話など、彼はものごとを素直によい方に考える人だなと感じました。

大学生を持つ親としては、日本とアメリカの学生の違いなど興味がありましたが愛大生はあんまり勉強しない、という彼の言葉に、ああやっぱりという感じでした。アメリカでは、受験こそ楽ですが大学に入学してからが勉強の始まりで、皆本当によく勉強するそうです。又大学の費用も、半分はアルバイトや学生ローンを利用して自分で出すそうで、やはりアメリカの学生の方が自立しているようです。

とてもきさくに私たちと話をしてくれて楽しいひとときでした。もう少し時間があればもっといろいろと話せたでしょうに。企画して下さいました。ありがとうございました。(K)



... * BY TOMO * * * * * * * * *

「森林について」思うこと

5月23日、林和男愛媛大学教授の「木と環境」の講演に誘われて出席した。

- ・ 50年後、石油は枯渇し、エネルギー源として森林が重要になってくる。
- ・ 森林資源の機能
- ・ 世界人口は1740年頃から急増。それと比例して土地利用の変化により森林面積が急減少。グローバルな目で見ると、近年森林面積はわずかに増加している。(米国・中国に於いて植林しているため)日本の国土の67%は森林である。

***最近の森林面積増加については、講師の方から後で若干の訂正があった。

森林面積の統計は、取り方によってデータが違い、減少しているというデータもあるとのこと

- ・ 無意識のうちに森林破壊している身近なこと。
- ・ 地球温暖化と森林
- ・ ライフサイクルアセスメント

等について、わかりやすく話していただき、大変勉強になった。特に、「森林問題は短期的に見て良いことと長期的に見て良いことが違うことが多い。結論が出にくい。」との言葉が印象に残った。

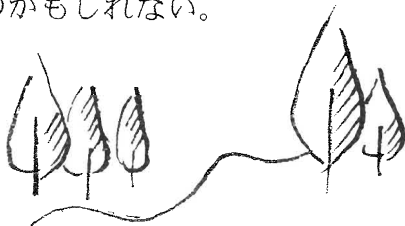
私が、毎年海外旅行に行き始めて数年になる。駆け足のツアー旅行であるが、百聞一見にしかず、のことわざ通り、考えさせられることが結構ある。その一つが、自然との調和、共存についてである。

わが国では、狭い土地を最大限利用する為に、完璧なまでに整地し、建物を建設する。その結果、人間の住む街には緑が少ない建物ばかりとなる。一方外国は、少なくとも日本よりは木を残し、自然と共存しているように感じた。

勤勉、潔癖、清潔好きの国民性もあると思うが、日本は敗戦後、経済発展に重点を置いて突き進み、それと同時に地球の森林破壊にも手を染めた。

トイレットペーパー、ティッシュペーパー、軍手等々、なぜ真っ白なのか。考えてみれば、不思議であり、不必要でもある。

森林問題は、実は私たちの生活そのものを考え返すことから始めなければならないのかもしれない。



(K.F)

林先生のお話を伺って

先生のお話は今まで常識と思っていたことを、ことごとく覆すものでした。アメリカや中国では木材は将来のエネルギーとして重要と考えられ、猛烈な勢いで植林されていること。森林減少の主な理由は木の伐採ではなく、農地や牧場などへの地目の変換によること。環境にやさしいと思われているヤシ油製品を使うことや、ハンバーガーやブラックタイガーを食べることが、森林をヤシ畑や牧場や養殖場に変えることにつながり、無意識のうちに森林破壊を手伝うことになること。木材は伐採と植林を繰り返す限り、再生可能な素材であること。古い森林は酸素の供給という役目はほとんどしていないこと。紙のリサイクルは必ずしも、森林の活性化につながらないので、スウェーデンではリサイクルをしていないこと。お話を伺いながら、驚きの連続でした。

さらに、森林資源は思っていた以上にたくさんの重要な機能を持ち、木材はエコマテリアルとして本当にすばらしい素材であることを再認識しました。

私達主婦が、グローバルな、また長期的な視点で物事をみるのは大変難しいことですが、地球上で進む環境の変化には常に敏感でありたいと思いました。貴重な時間をさいて、私達に話をしてくださった先生に感謝しております。 (T)



重信川水系河川環境管理基本計画を読んで

6月1日に4人で建設省四国地方建設局に行ってきました。新聞で、重信川流域の泉の保全を含む管理計画が建設省から示されたというのを知り、詳しいことを聞きに行きました。事前に連絡をしていたのですが、担当者には会えませんでした。こちらから用意していったのは以下の質問です。

- 1 泉については、地域住民との意見交換、または整備計画の提示などは、どのような場でおこなわれるのか。委員会が設置されているのなら、それはどのようなメンバーなのか。一般住民との接点はあるのか。
- 2 公園として整備をすすめる時には、もともとそこにあった樹木をできるだけ残す方針なのかどうか。
- 3 泉も含めて泉周辺の自然保護は具体的にどのように進められるのか。

以上の質問には答えてもらえませんでした。

資料として

「重信川水系河川空間管理計画」

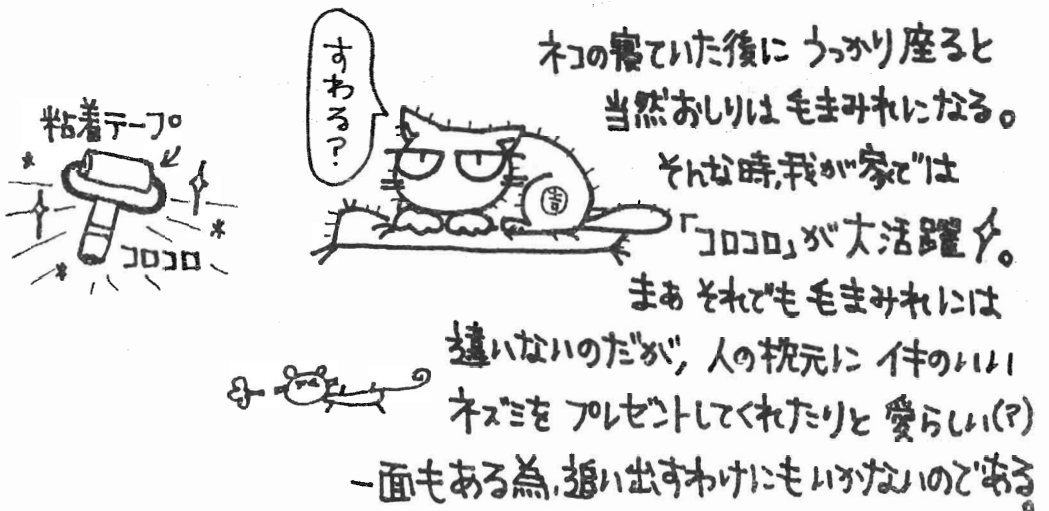
「重信川水系河川環境管理基本計画」をもらってきたので読んでみました。

気になるところが一つありました。

河川空間の管理に関する計画の中の地域交流ネットワーク計画において、各地に案内板、休憩施設、アクセス路の整備を行うとありましたが、これらができると来訪者が多くなり新たにゴミ問題などが起こること、自然環境が変化することが懸念されますが、そのことに対する具体的な対策は示してありません。

あとは町役場に行ってこれらのことについて詳しく聞きたいと考えています。今までは役場の職員の方々には親切に対応していただいています。

(K, K)



「環境を守る」

6月1日(月) 6月定例会報告

A・M

町役場生活環境課の加藤課長に来ていただき、可燃ゴミの指定袋実施以降のゴミ行政について話をしていただき、その後、Q & A形式での話し合いを持ちました。

最近、「ダイオキシン」関連のニュースが毎日のようにマスコミをにぎわせていますので、まず、「ダイオキシン」についての説明があり、次に、ゴミ行政について具体的な話に移りました。

<可燃ゴミについて>

①昨年4月より指定袋施行以降のゴミの推移はどうなっているのか。

平8年度総量4987.74t 平9年度総量4207.65t 15.6%減

“ 4月 417.26t “ 4月 341.53t 18.1%減

顕著に減少しているのは、分別がきちんとできた成果であるとのことでした。

②違反シールが貼られたゴミ袋について

悪意がないと思われる(というっかりの無記名・分別不十分な物)ゴミ袋に関しては次回回収時に持ち帰っているが、悪質な物については人物を特定し注意をし続けてか違反ゴミはかなり少なくなっているそうです。

③紙ゴミの処理について

古紙回収車が取りにきているのを見掛けますが、逆有償となっており、ゴミ焼却炉の温度を上げるために燃やし、油代の節約に役立っている。資源として利用したいのだが、分別が不十分なためキッチンと分別されている外国古紙の方が安くリサイクルしやすいのだそうです。出来たりリサイクル製品の利用も伸びなやみリサイクルがうまくいっていないのが現実です。

④重信町の焼却炉のダイオキシン関連について

最近の測定値(国の基準値1㎡当たり80ナノ?)

1号炉 0.21ナノ ※ナノ=10億分の1

2号炉 0.24ナノ ※ヨーロッパの基準値=0.1ナノ

今のところ、この測定値であれば、平14年12月以降の基準値強化に対してもクリアー出来るそうです。(でも、この測定値も条件の一番良い時点で測定しているとしたら24時間稼働の炉ではないから着火と消火時には高濃度のダイオキシンがでてしていると私は考えています。ヨーロッパの規準値・「環境ホルモン」のことを考えてみると、80ナノという基準値は高すぎるし、今後、基準値が厳しくなる可能性があるかもしれません。そうなると、24時間稼働の焼却施設でないとクリアー出来なくなるでしょう。ゴミ処理広域化の必然性がでてくるのかもしれませんがね。)



<不燃ゴミに関して>

平8年度総量1005.80t 平9年度総量1235.85t 22.9%増

①平10年4月より、燃やさないゴミとして4分別回収が始まりました。月2回づつ（空き缶・金属類）と（ペットボトル・その他の燃やさないゴミ）の回収でゴミステーションがスッキリと感じる気がしています。町としては、透明袋でキッチンと4分別されていれば良いとしているが、地区によっては、記名をし当番で立ち番をしたりと、取組はまちまちだそうです。

②回収業者（松山容器）での処理方法について

リ	空き缶：アルミ・スチールを磁石で分別しそれぞれ立方体に固めている
サ	金属類：手作業で分別している
イ	びん類：色分け（無色・茶色・黒・緑）しカレット（細かく砕く）にする
ク	ペットボトル：ラベル（手作業で外す）キャップ（外していないもの）汚れのひどいものを手作業で除き、機械で細かく砕く
ル	※グリーンペットボトルはリサイクルされません※

その他の燃やさないゴミ：そのまま最終処分場へ運ばれる（砥部町は、プラスチックゴミを減容器にかけ50分の1にかさを減らして処分場へ運んでいる
※発泡スチロールトレイはリサイクルされません※

松山容器を見学して感じたことは、

- *細かく分別したほうが手間が省けてリサイクル率が上がる
- *スーパーなどの回収ボックスに出せるものはそちらに出す（確実に資源化される）
- *詰め替えのできるものを利用し無駄なものは買わない
- *自分の目で現実を知る上で是非見学をお勧めします。

<粗大ゴミに関して>

平8年度総量968t 平9年度総量814t 15.9%減

増加し続けていたのが減少した要因として、消費税アップがあるだろう。冷蔵庫が減っているそうです。家電製品の買い替え時には古い方を電気屋さんに取り取ってもらったほうがよいでしょう。（特に冷蔵庫・クーラーはフロンガスがあるので、有料でも取り取ってもらいましょう。）

<Q & Aコーナー>

- Q. カラスの被害に困っています。ネットをかぶせて対策は取っているが、イヌ・ネコの被害もあり困りのあるゴミステーションやカゴの設置は出来ないものなのでしょうか。
- A. ゴミステーションは町内約600ヶ所あり、困り・カゴの設置は費用・立地場所的に難しい。今のところ自己防衛で乗り切ってほしい。※イヌ避けにはエアサロンパスを吹き付けておくと良いそうです。
- Q. 電気の生ゴミ処理機の補助の予定はないのでしょうか。

A. 予算が多額になるため未定。ゴミ焼却場（1日22t 処理可能）で処理できる量の間はゴミとして出してほしい。コンポスト・ボカシ等でのゴミ減量化は継続して協力していただきたい。

Q. 不燃ゴミ・粗大ゴミの有料化の予定はないのでしょうか。

A. 不法投棄の増加が考えられ今のところ未定

Q. 転入してきた人への説明や指定袋の配布はどのようになっているのでしょうか。

A. 住民票を移動された方にはパンフレット・指定袋の配布を行っている

Q. 外国人向けのパンフレットはあるのですか。

A. 登録数約60世帯あるが特別に作ってはいない。パンフレットの絵で理解したり、近所の人に聞いたりして出しているそうです。

Q. 事業所・福祉施設のゴミはどのようになっているのでしょうか。

A. 指定袋 10枚500円で購入してもらっている。

焼却場への直接持込みについて	一般住民	100kg	100円
	業者	"	600円

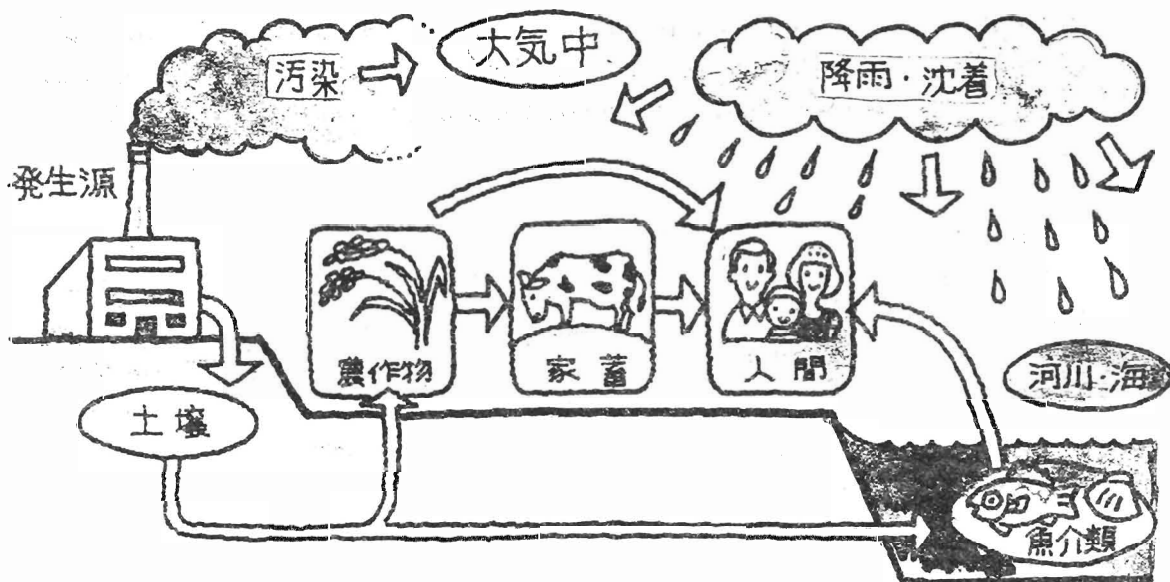
愛媛大学が焼却施設を作り直すため、その間、町が依託回収するようになっている。

くらしの学習会では定期的に加藤課長にきていただいています。直接色々なお話を聞くことができるし、そのつど疑問にも答えて下さるので、たくさんの人の参加をお願い致します。



ダイオキシンの汚染経路

ごみの焼却などから発生したダイオキシンは、大気中に出ていき、雨などにより土壌や河川に落ちてきます。さらに、植物や魚に食物連鎖を通して取り込まれていくことで、生物にも蓄積されていくと考えられています。



今回は...

グルジア共和国からの



留学生 マリアさん。

○グルジア共和国



ちよび
お勉強

→ 黒海とカスピ海にはさまれた国で
日本の5分の1ぐらいの国土面積。



→ 陸つきの為もあり、周囲の沢山の
国から侵略をうけてきた。

日時: 6月12日
午後7時~
場所: 林さん宅

マリアさんは大学で
工学を勉強しています。
彼女と友達になりたい
人は来てみて下さい。



のんびりゆるゆる生活します... いろいろな人と出会うのは楽しいことですね... はい、いいことですよ。

みんな知ってる？グルジア共和国

正式国名： グルジア共和国 (Republic of Georgia)

首都： トビリシ (Tbilisi)

国土面積： 6万9700平方キロメートル (日本の5分の1)

総人口： 541.1万人 (1996年末)

1991年独立 英語では、ジョージアと言い、ギリシャ人が付けた名で「農業の国」を意味し、グルジアはトルコ人がつけた名で、「神を信じない人」という意味。(ちなみにトルコの宗教はイスラム教で、グルジアの宗教はキリスト教) 建国の歴史は古く、紀元前6世紀(コルキス王国)とか。

公用語： グルジア語 グルジア文字は全部で33文字。一つの文字は一つの読み方しかない。

気候： マリアさんの実家がある街では、冬は-15度にまで下がり、夏は35度まで上がるというのが普通なのだそうだが、地域によって違う。

地震が多い国。2年に1回は大地震があるという。

その他： スターリンはグルジア人。旧ソ連外相シュワルナゼが現在の大統領。グルジアの歴史は侵略、戦争、内紛の歴史。1918年一旦独立したが、3年でまた旧ソ連に併合される。しかし、この間に大学を作ったり基盤を整えたりした。

1991年独立してからも内紛が絶えず、マリアさんの友達も、内紛に巻き込まれてなくなったとか。日本のような島国に生まれたかったという言葉が印象的だった。平和のありがたさをいつも感じているとか。

მარია

მირიანაშვილი

グルジア語で「マリア ミリアナシヴィリ」と読みます

グルジア共和国からの留学生

マリアさんのお話を伺って

グルジア共和国のことはほとんど知りませんでした。黒海とカスピ海に挟まれている小さな国、確かよく争いがあって・・・そのくらいでした。本当に恥ずかしい限りです。

私が、もし日本を離れ暮らして「あなたの国、日本について教えて」と言われたら「どうしよう・・・。」歴史、民族、宗教、文化、芸術 etc.このうちまともに答えられるものがないのが現状です。それだけひどい学習不足です。情けなく思います。

マリアさんのお話を伺っていて、祖国を愛する気持ちが随所に感じられました。また愛する家族、友達と遠く離れていても彼らを思う心が伝わりました。ステキだと思います。

他国からの侵略や内紛の繰り返しの中で、私達現在の日本人には解らないほどの数々の思いを経験しているはずなのに、それを教訓に明るく前向きに生きてゆく、本当に生きる力、勇気といったものを感じます。

何か、のんびりしすぎて、怠惰ななかでの眉をひそめたくなるような出来事が増えつつある現代、そして私自身反省させられます。

そういうところから、少しずつでも、自分を磨き高めていかななくてはと思います。では、その為に、何ができるかなと考えると、日々の生活の中で、少しずつでも前向きに一歩ずつできることから始めなくては、と思います。

一人ずつが向上することが、国、やがて世界のためにとつながるのでしょう。普段の生活では、立ち止まって考えもしなくなっていることを、私も少し掘り下げてみる事ができました。どうもありがとうございました。

少し前の日本も、心豊かな面が多かったのでは・・・何かホッとする、人間には大切なことが詰まっていたのかもしれない。(T.F)



レフカ

フヤマ サヤコ
福山 紗矢子



グルジアには日本のお便り(は)は、何しろい
どうですか?



グルジア共和国と日本は、けさうにしている
ということがわかった。

とてもよいべんきょうになった、と思います。

ありがとうございます。

湯浅 美穂里



グルジアの文化など、色々なことを話して頂いて、とても
楽しかったです。また、お話を聞きたいです。

マリヤさんには日本の大学でも一生懸命が「ん」ほ、て
ほしいです。

後藤 文華



森川 英世

- ・普通では聞くことが出来ない話を
聞かせてもらえてよかったです。
- ・日本とよく似た風習があること
には驚きました。
- ・最後に一言、ありがとうございます。
これからもがんばって下さい。

マリアさんへ

とてもよい話を聞かせて
いただき、ありがとうございます。
ました。

とても良く、グルジアのこと、
マリアさんのことが分かりました。

またいつか機会があったら、
お会いしましょう。

菊地真由

すごくおもしろかった。
ロシアの辺りのことは
全然といっていいくらい
知りたかったから、
興味を持ってきた。

そして、普段日常的にききな
れている「戦争はイヤだ」
という言葉を、ちっと意識した。
グルジア共和国もどこに
あるのかしかなかったけど、
日本からずい分はなれている
のに共通点が多いのでおどろ
いた。マリアさんにまた
いつか会いたい。

川本美穂

マリアさんへ

今回、質問してビックリしたこと
は、グルジアにも『かぶき』がある
ということだ。『やはり世界は
広いなあ』と思いました。

日本と同じように、1つの文字に1つ
の音ということでも、日本語は、
ひらがなの他にカタカナ、漢字があ
るから、難しかったはずなのに、
と感しました。

でも、日本と共通の文化があつたの
は、なんとなくうれしかったです。
また、どこかで会えるといいですね。
菊地真由

マリアさんは日本
ごかしょうずだな
と思った。

いろいろしゃべれ
てすごいなと思っ
た。
かいのうなぎさ

♡ 今回は、ブルジョアからの留学生、マリア
さんのお話ということだ。しかし、私は
ブルジョアの位置を直前に地図張で調
べたばかり、他に何も予備知識が
なかった。最初から最後まで「へー」
とか「ほー」とか「あー」とかうなづいては
かたがた。しかし決して難しい話で
はなく、とても面白い内容だ。そのため、
あ、という間に2時間が過ぎた。

まじかロシアの向こうに日本と似
似た習慣を持つ国があるとは
思わなかった。非常に印象的
だ。2時間楽しく過ごすことが
できた。良かったと思う。

菊地香織



健康住宅

財団法人 住宅・建築 省エネルギー機構という団体があります。去る6月3日、同団体が主催する「健康住宅セミナー」（福岡会場）に出席しましたので、その概要についてご紹介します。

近年、住宅で使用される建材や施工材等から放散する化学物質による住宅室内の空気汚染、特に揮発性の有機化合物による健康への影響が問題として指摘されています。

そこで、同団体は、平成8年7月、建設省、厚生省、通商産業省、林野庁の協力の下に、学識経験者、関連業界団体からなる「健康住宅研究会」（委員長：今泉勝吉 工学院大学名誉教授）を組織し、健康影響を与える可能性のある化学物質に関して、空気汚染対策の検討を実施してきました。

同研究会では、「内装・実験分科会」（事務局：壁装材料協会）および「木質建材分科会」（事務局：（財）日本住宅木材技術センター）を組織して、2年にわたりそれぞれ内装材、木質建材による室内空気汚染の状況について実証的実験研究を行うとともに、「設計・施工分科会」（事務局：（財）住宅・建築 省エネルギー機構）において健康影響を低減していくための住宅設計・施工の基本的考え方、手法および入居者の住まい方等について検討しました。

このたび、同研究会は検討の成果として、「室内空気汚染低減のための設計・施工ガイドライン」（以下、「設計・施工ガイドライン」という）と「ユーザーズ・マニュアル」をとりまとめ、広く公表することとなりました。

同研究会が研究課題とした住宅の考え方とは、「住宅の空気汚染による継続的な健康への影響に配慮した住宅」、具体的には、以下に配慮した住宅です。

- ① 人体に有害な揮発性有機化合物等を放散しないか、一般に用いられている材料、部品と比べ放散する揮発性有機化合物等の量が十分少ない建築用材料、部品を使用すること。
- ② 通風・換気・遮断等により揮発性有機化合物等による健康への影響を低減できる性能を有すること。

同研究会の検討範囲は、引き渡し時に住宅と一体となっている材料・部品であって、室内へ放散した場合に健康への影響を引き起こす可能性の高い化学物質を含むものとし、さらに、住宅室内に放散される可能性の有無や健康への影響の可能性を勘案し、安全な居住空間を実現するために当面優先されるべき物質として、次の3物質および3薬剤を「優先取組物質」として選定し検討を重ねました。

- | | |
|----------------|-------------|
| 3物質 ① ホルムアルデヒド | 3薬剤 ④ 木材保存剤 |
| ② トルエン | ⑤ 可塑剤 |
| ③ キシレン | ⑥ 防蟻剤 |

設計・施工ガイドライン、ユーザーズ・マニュアル作成上の基本的な考え方は、優
(15)

先取組物質の室内濃度が一般的に以下の特性を持つことを基礎としています。

- ① 優先取組物質の室内濃度は、優先取組物質を放散する建材・施工材（接着剤・塗料等の建築現場で利用する材料）の使用量に正の相関があること。
- ② 建材・施工材の選択によって優先取組物質の放散を低減できること。
- ③ 優先取組物質の室内濃度は時間が経るにつれ次第に低減していく傾向があり、この低減速度は建材・施工材の種類、放散する物質によって異なること。
- ④ 建材・施工材の温度が高くなると、優先取組物質の放散量が大きくなる傾向があること。
- ⑤ 換気量が多くなると優先取組物質の室内濃度は希釈されて低くなること。
- ⑥ 外装、基礎・床下・天井・構造躯体、内装下地材、内装仕上材の順番に後者ほど室内濃度への影響が大きくなる傾向があること。

□ 設計・施工ガイドラインの概要

性格：設計者・施工者を対象として、室内空気汚染による居住者の継続的な健康影響を低減する住宅づくりを実現するための、設計・施工時における基本的な考え方や手法を取りまとめたものです。

要点：設計・施工者が入居者の居住条件や敷地の条件、構造の特性等を把握することが重要であり、これらを十分に踏まえて、

- ① 適切な材料選定を行うこと。
- ② 現場での適切な施工管理を行うこと。
- ③ 通風・換気へ配慮した設計を行うこと。

が入居者の健康影響の低減のために重要です。

さらに、引き渡し時には、入居者に対し、優先取組物質などの室内空気汚染物質による健康被害を低減していくための住まい方について説明を行うことが重要です。

建材・施工材の選定においては

優先取組物質を放散しないか放散が十分少ないものを、日本農林規格や日本工業規格あるいは業界団体の定める自主規格、メーカーから入手できる化学物質等安全データシート等を参考にして適切に選択することが有効である。

接着剤・塗料等の施工に当たっては

種類、使用量を目的に応じて適切に施工管理を行うとともに可能な範囲で養生期間をとることが有効である。

換気・通風への配慮では

風による空気の流れをより効果的に活用できるような位置に窓や換気口を設けることや、適切な位置に換気設備を設けるほか、工期または入居ま

での間の換気の実施が有効である。

リフォームにあたっては

ユーザーが居住しながら現場施工を行う場合が多いため、新築時以上に、使用する建材・施工材の選択や施工方法、施工管理、工期設定に一層十分な配慮を行う必要がある。

なお、研究の結果、化学物質の健康への影響については個人差が大きいことや、室温、湿度、換気などの条件によって室内濃度は大きく変化すること、濃度予測法についての研究が進んでおらず未だ困難なレベルにあることなどから、こうした予測方法については今後、各方面で取り組むべき研究課題であるとされました。

また同ガイドラインは、ホルムアルデヒドの室内濃度が高く居住者への健康被害が懸念される時に、現段階で最も簡便かつ有効な対処手段と考えられる換気の方法を居住者にアドバイスしていく簡易マニュアルと、ホルムアルデヒド濃度の簡易な測定方法についての解説を添付しています。

□ ユーザーズ・マニュアルの概要

性格：住宅に入居するユーザーを対象とし、ユーザーが住宅を建築あるいは購入する時の配慮点や住宅の選び方、日常の暮らしの上での留意点を分かりやすくまとめたものです。

要点：ユーザーは、室内の空気環境に配慮して健康への影響を低減していくための住宅建築の基本が、① 適切な材料選択

② 適切な施工

③ 換気・通風への配慮

にあることを理解し、こうしたことに配慮された設計、材料選択がなされているか、さらに、建築現場で現実に正しく施工されているかを確かめることが重要です。

日常の暮らしの上では、① 窓の開閉によって自然換気を積極的に取り入れること。

② 給気口をできるだけ開けた状態にすること。

③ 室内ドアを解放して通気経路を確保すること。

④ 窓を閉め切る場合は台所換気扇などを運転すること。

などの換気への配慮が重要です。

また、生活の中では建材等以外にも、室内空気汚染源となる可能性があるものがあり、それらをできるだけ持ち込まない、あるいは使用にあたっては換気に十分注意する必要があります。

入居後、「強い臭いがする」

「目がチカチカする」

「喉に渴きを覚える」

などの症状をおぼえたときには、すぐに設計者、施工者に相談して適切な換気の方法などについてアドバイスを受ける必要があります。

これらの手法でも症状が改善されない場合には、専門医に相談することを勧める必要があります。

なお、症状によっては早めに医師に相談したほうが良い場合もあるので注意する必要があります。

以上

- * テキストに基づいてご紹介したために、文章が堅苦しく分かりにくくなったことをご容赦下さい。
- * 化学物質、設計・施工ガイドライン、ユーザーズ・マニュアル、室内空気環境に関する紛争処理事例の内容その他関連のことは、次の機会にご紹介できればと思っています。

(中野)

今後の予定

- ***7月13日(月)午前10時30分～ 臓器移植コーディネーターの話
 - ***楠先生の博物館に行ってみませんか! 参加者募集
 - ***また奥重信・阿歌古溪谷の方へ足をのばしてみたい・・・
- 色々な企画・ご意見をお待ちしています。

くらしの学習会では、随時会員を募集しています。

活動会員 2000円 購読会員 1000円/1年

振込口座番号(郵便局)

くらしの学習会 01610-5-21026

問い合わせ先 電話・FAX 089-964-6956 (林)

編集後記

今夏一番の暑さの中、フランスワールドカップの試合をときどき見ながらパソコンに向かっています。あーあ、日本は予選リーグの試合全部に善戦むなしく負けてしまいました。1点入れることがいかに難しいか、1勝することがいかに大変なことか。つくづく思い知らされました。でも、昨日より今日、今日より明日へ一歩ずつ進んでいけばいつかは・・・・・・。諦めないことが大事なのではないでしょうか。ごみ問題しかり、環境問題しかり、国際紛争しかり

(Y.G T.H)